

観光協会だより

2020

10月号



多良木町のうまかもんば食べて応援！買って応援！

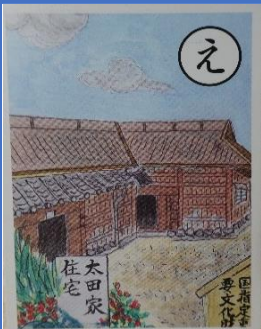
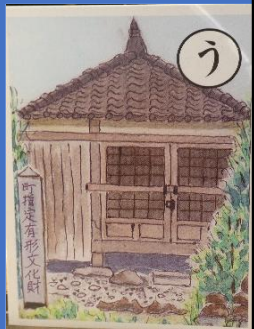
スタンプ台紙は
多良木町観光協
会と協賛店舗に
あります♪



スタンプ集めて
お得にお食事！
お買い物♪

《実施期間》 令和2年9月15日（火）～令和3年1月31日（日）

- ①実施期間中に、対象となるお店（協賛店舗）で500円以上お買い物された方に1個スタンプを押します。
 - ②異なるお店のスタンプを3個集めていただき、次回来店時に「500円割引券」として利用できます。
- ※スタンプが3個押されたスタンプカードを500円割引券として利用できる期間は、令和3年2月28日（日）まで。

| | | | | |
|--|--|---|---|---------------------------------|
|  | <p>え おもかげ 江戸時代 おたけじゆうたく 残すのこ 太田家住宅</p> | <p>たらぎ文化財カルタ H15年9月初版発行 著作者 たらぎ地名研究会 発行者 多良木町教育委員会 ☆文化財カルタ購入できます☆ ¥1,000-</p> |  | <p>う 武將が 瀬原 阿弥陀堂 供養</p> |
|--|--|---|---|---------------------------------|

『太田家住宅』

全国的に見て人吉藩では家造りの規制が厳しく上級武士以外では小規模な住宅に制限されていて梁間三間以上の住宅に住むことが禁止されていました。太田家住宅は梁行き寸法が三間（約6m）より僅かに短くして、最大限の広さを確保する工夫をしています。建物は寄棟造で茅葺の屋根を2か所で折り曲げた「二鉤」（ふたかぎ）の造りが特徴です。「ざしき」「あらけ」といった客間部分と「だいどころ」「どうじ」（土間）といった生活・生業部分のの棟を平行に置き前後にずらして「なんど」（寝所）部分で両棟を繋いだ形で、これは球磨郡に残る鉤型民家の最も発展した型とされています。現在に残る住宅は安政3年（1856）頃に博多大工によって建てられたと伝わり160年以上が経過しています。太田家の先祖は鎌倉時代に相良氏の下向に同行してきた武士とされますが、江戸時代には中原に屋敷を構えるようになり、農業のかたわらで焼酎製造を行います。平成18年から平成21年迄、30か月をかけて解体保存修理が行われました。

『大久保阿弥陀堂』

黒肥地、大久保より東光寺地区に至る道路脇に阿弥陀堂があります。本尊の阿弥陀如来立像は、カヤの一木造りで上品下生の印を結び、輪光背がつけてあります。像高60cm。脇侍の観音菩薩・勢至菩薩もカヤの一木造りで像高32.5cm。本尊台座銘に「奉再興元龜三年（1572）」とあり、この地で起こった「瀬野原の戦い」永禄2年（1559）の後、13回忌に戦死者の供養の為に作られたものです。

☆参加者募集中☆

多良木フットパス・
久米郷コース

R2年11月3日（火）

＊文化の日＊

久米公民館10時出発
《参加費》

大人 1,000円

小学生以下 500円

多良木町観光協会 事務局

〒868-0501

多良木町大字多良木883

TEL:0966-42-7111

FAX:0966-42-7070



HP



Facebook